

日曹
モンカットベフラン フロアブル
 (MONCUT BEFRAN FL)

登録番号 第22266号

種類名 イミノクタジン酢酸塩・フルトラニル水和剤
flutolanil・iminocytadine triacetate

殺菌剤分類 M7, 7

性状 類白色水和性粘稠懸濁液体

有効年限 4年

有効成分 イミノクタジン酢酸塩 10.0%、フルトラニル 20.0%

P R T R フルトラニル(PRTR・1種) 20.0%
パリゴルスカイト(PRTR・2種) 2.3%

毒性 医薬用外劇物

包装 2ℓ×6本(北海道限定)

■特長

1. モンカットとベフランとの混合剤であり、小麦の紅色雪腐病と雪腐小粒菌核病を同時に防除でき、省力的です。
2. モンカットは、雪腐小粒菌核病(黒色小粒菌核病・褐色小粒菌核病)に対し高い効果を示します。
3. ベフランは、紅色雪腐病に対し高い保護殺菌効果を示します。
4. フロアブル化による微粒化および製剤の工夫により雪腐病に安定した効果を発揮します。
5. フロアブル製剤のため、調合が容易です。


■適用病害名及び使用方法

(2020年11月25日現在)

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	イミノクタジンを含む農薬の総使用回数	フルトラニルを含む農薬の総使用回数	使用方法
小麦	雪腐大粒菌核病	500	60～150	根雪前	2回以内	4回以内 〔種子への処理は1回以内、散布および無人ヘリ散布は合計3回以内、出穂期以降は1回以内〕	2回以内	散布
	紅色雪腐病 雪腐小粒菌核病	125	25					
		4	0.8					無人ヘリコプターによる散布

△ 効果・薬害などの注意

1. 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
2. 使用に際しては、容器をよく振ってください。
3. 本剤を希釈倍数125倍で使用する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を用いて均一に散布してください。
4. 無人ヘリコプターによる散布に使用する場合は次の注意を守ってください。
 - (1) 散布液調製後はできるだけ速やかに散布してください。
 - (2) 散布は各散布機種 of 散布基準に従って実施してください。
 - (3) 微量散布装置以外の散布器具は使用しないでください。
 - (4) 散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - (5) 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - (6) 散布薬液の飛散によって自動車の塗装やカラートタンの塗装等へ影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
 - (7) 散布終了後は次の事項を守ってください。
 - ・使用後の空容器は放置せず安全な場所に廃棄してください。
 - ・機体の散布装置は十分洗浄し薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
5. 本剤はイミノクタジンを含む農薬であるので、他のイミノクタジンを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用してください。
6. 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

△ 安全使用上の注意 

7. 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当を受けてください。

8. 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
9. 皮ふに対して強い刺激性があるので皮ふに付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
10. 散布液調製時および散布の際は保護メガネ、防護マスク、不浸透性手袋、ゴム長靴、不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼してください。
11. かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

水産動植物への影響：使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器などは水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管：密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼な所に、カギをかけて保管してください。盗難・紛失の際は、警察に届け出てください。

-
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。
 - 火災時は、適切な保護具を着用し水・消火剤等で消火に努めてください。
 - 漏出時は、保護具を着用し布・砂等に吸収させ回収してください。
 - 移送取扱いは、ていねいに行ってください。